

## 白川昌生

## SHIRAKAWA Yoshio

- 1948 福岡県北九州市戸畑生まれ  
 1981 デュッセルドルフ国立美術大学卒業 修士号  
 1993 地域とアートをつなぐ美術活動団体「場所・群馬」創設

前橋文化研究所を運営

地域通貨 MAAS（前橋芸術地域通貨）代表

地域を中心とした作家のグループ「場所、群馬」代表

群馬県立女子大学、前橋工科大学講師

## 個展

- 2014 「白川昌生 タダ、タダ、タ 地域に生きる想像」アーツ前橋（群馬）  
 2007 「白川昌生と『フィールドキャラバン計画』」群馬県庁昭和庁舎（群馬）  
 2002 「サチ子の夢」現代美術センター〈フォ・ムーヴマン〉（メッス、フランス）  
 1999 「オープンサークル・プロジェクト」モリス・ギャラリー（東京）  
 1998 「場所、群馬」北関東造形美術館（前橋、群馬）  
 1997 「形、場所」モントリオール国際現代アートセンター（カナダ）  
 1996 「日本人ですか3」モリス・ギャラリー（東京）、ギャラリー現（東京）  
 1994 「SHIRAKAWA'94 日本美術試作—日本人ですか1」佐賀町エキジビットスペース（東京）

## グループ展など

- 2016 「資本空間—スリー・ディメンショナル・ロジカル・ピクチャーの彼岸」（キュレーター：山本和弘）ギャラリーαM（東京）  
 2015 「引込線 2015」旧所沢市立第2学校給食センター（埼玉）  
 2015 「メルド彫刻の先へ【彫刻と記録】」前橋文化研究所（群馬）  
 2013 「カゼイロノハナ 未来への対話」アーツ前橋（群馬）  
 2012 「開港都市にいがた 水と土の芸術祭 2012」（小野田賢三らと《沼垂ラジオ》で参加）（新潟）  
 2011 「駅家の木馬祭り」前橋市美術館準備室（群馬）  
 2005 「渋川ぶらっとフォーム計画」渋川市美術館（群馬）  
 2005 「アルス・ノーヴァ、現代美術と工芸のはざまに」東京都現代美術館（東京）  
 2005 「ブルーノ・タウトを讀んで」少林山達磨寺洗心亭（高崎、群馬）  
 2005 「記憶の再生」旧麻屋テパート（前橋、群馬）  
 2002 「第7回北九州ビエンナーレー—ART FOR SALE アートと経済の恋愛学」北九州市立美術館（福岡）  
 2000 「夢のあと」ハウス・アム・ヴァルトゼー（ベルリン、ドイツ）、パーテンパーテン・クンストハーレ（パーテンパーテン、ドイツ）  
 1998 「そしてつづいて」ラングドック・ルシヨン現代美術センター（セート、フランス）  
 1996 「現代美術と文字」北海道立函館美術館（北海道）  
 1995 「第30回今日の作家展」横浜市民ギャラリー（神奈川）  
 1994 フェーレ立川（東京）  
 1993 「第2回北九州ビエンナーレー—クロノスの仮面」北九州市立美術館（福岡）  
 1991 「箱の世界展」水戸芸術館（茨城）  
 1990 「現代彫刻の歩み」神奈川県立県民ホール・ギャラリー（神奈川）

## 【文献目録】

## 著書

- ・「SHIKAWA—白川昌生作品集」現代企画室 1995
- ・「美術、市場、地域通貨をめぐって」水声社 2001
- ・「美術・マイノリティー・実践 もうひとつの公共圏を求めて」水声社 2005
- ・「美術・記憶・生」水声社 2007
- ・「美術館・動物園・精神科施設」水声社 2010
- ・「西洋美術史を解体する」水声社 2011
- ・「贈与としての美術」水声社 水声文庫 2014

## 共編著

- ・「日本のダダ 1920-1970」編 書肆風の薔薇 1988
- ・「村山知義とクルト・シュヴィッターズ」マルク・ダシー、松浦寿夫、塚原史、田中純との共著 水声社 2005

- ・「フィールド・キャラバン計画へ 白川昌生 2000-2007」松浦寿夫、北澤憲昭、稲賀繁美、福住廉、真武真喜子、花田伸一、染谷滋との共著 水声社 2007
- ・「〈帝国〉の時代のアートとアーティスト（前・中・後篇）」『あいだ』 第184号～186号 小田マサノリとの共著 あいだ 2011

Web

日本美術オーラルヒストリー・アーカイブ「白川昌生オーラル・ヒストリー 2010年8月23日」聞き手：福住廉、鷺田めるる  
[http://www.oralarthistory.org/archives/shirakawa\\_yoshio/interview\\_01.php](http://www.oralarthistory.org/archives/shirakawa_yoshio/interview_01.php)